

経営理念のご紹介

我が社の「経営理念」

株式会社TADコーポレーション
代表取締役社長

井口 浩治氏

当社は、1985年に旧高島町に創業し、来年創業40周年を迎えます。嘗て大学願書が大型書店でしか入手できない時代に、『すべての受験生が平等に願書を手に入れ、出願できるようにしよう』という創業理念のもと、願書の通信販売事業を開始したのが始まりでした。以降、全国の大学・短大を中心に数多くのお客様のダイレクトメールや資料の発送を代行しています。現在、扱ひ大学数は200大学に上り、日本のへそである滋賀県から全国の受験生に資料をお届けしています。

今から10年前の2013年に高島市での一極集中の事業展開から、支社開設（京都・守山・東京）を機に、旧社名（株式会社高島デリバリー）から、株式会社TADコーポレーションへと社名を変更しました。よく皆さんから社名の由来を聞かれることがあるのですが、『Total support Advanced Deliveryの頭文字をなぞったもので、TAD（タッド）と読みます。社名には「先進的な(Advanced)発送サービスでお客様のビジネスを総合的にサポートする」という意味

を含めており、この事は経営理念にも深く通じています。

ただ単に荷物を発送すれば良いのではなく、その背景にあるお客様の想いを汲み、お客様が届けたいモノを届けたい人へ、確実にお届けするために、我々に何ができるかを考え取り組んでいます。日々進化する情報技術、ミスなく確実に対応できる体制、効率化に向けた自動化・省人化など、あらゆる努力は、すべてその社名に込めた思いに繋がっています。

過去に大雪があり物流がマヒしたことがありました。出願期間を間近に控えた受験生に願書が配達されず、直接自分たちで新幹線を使いお届けに上がったことがありました。出願期間に間に合わなければ当然受験はできません。「もしかするとその人の人生が違ったものになってしまうのではないか」、今でこそ、ネット出願が当たり前の時代ですが、当時からそんな思いや考えを全員が共有し業務にあたっています。

当社の経営理念は『お客様へ誠意を尽くし努力をいとわず信頼を得ることを誇ります』と唱えています。実は、この経営理念は2023年に一新したばかりです。長らく、教育的観念をベースとした大学業務に特化したものを経営理念としていましたが、近頃は大学業務以外に、官公庁や一般企業からも多岐に

渡る業務を頂けるようになり、より明確に従業員に同じ価値観・方向性を示す必要がありました。そして皆が理解し浸透するよう、分かり易さを備えた新たな経営理念が完成しました。お客様との信頼関係は、相手に対する思いやりのもとに築かれます。そんな自らの仕事に誇りを持つことが、何よりも大切だと我々は考えています。

現在、従業員は180名、地元高島市の者が約7割を占めています。現場見学に来られるお客様からよく言われるのが、「皆さん本当にまじめな方が多いですね」という言葉です。これは昔からよく耳にする話で、かなりの確率で周りの方々にそのように感じていただいているようです。社風という面もあるかも知れませんが、幼い頃に学んだ藤樹先生の教えや豊かな風土文化など、高島という土地柄が、このような気質をもたらしているのかも知れません。その辺りは定かでないですが、これからもその徳性を誇りに、誠心誠意お客様に向き合い仕事に取り組みたいと思います。

近年、パーパス経営が叫ばれています。当社もその一環として、経営理念を見直すタイミングでSDGsへの取り組みを開始しました。具体的なテーマは、「質の高いサービスを提供し続ける企業に」、「従業員がさらに活躍できる企業に」、「地域と

の繋がり・環境を大切にする企業に」、これら3つのテーマで、社会貢献、持続可能な社会の実現を目指しています。業務では地元の方々との関りはあまり多くある会社ではないですが、我々の取り組みが少しでも地域貢献につながればと思っています。そして、企業文化に関わる教育という観点では、世界中の子供たちに、平等に教育の機会が与えられることを願っています。

少子高齢化で人口減少化にある日本において、確実に働き方や仕事の価値観は変化しています。社会への貢献や社会的存在意義など、企業が果たすべき役割を意識しながら、今後とも経営理念の共有と実践で、皆が誇りを持って働ける会社を目指したいと思います。



TAD
TADコーポレーション